

ジャクソンの拒否通告書

「政府の補助金を得るのは、すべてわれらが国民以外の者である。同行の株式の800万以上是外国人が所有している。(中略) ...本質的にわが国と結びつきを持たない銀行に、アメリカの自由と独立を脅かす危険はないだろうか？(中略)

われわれの通貨を管理し、公的資金を受取り、何千人という市民を従わせる。これは敵の実際の軍事力よりも恐ろしく、危険なことである。(中略)

もし政府がどの銀行にも平等な保護を与えるにとどまり、天が雨を降らすように、高き者にも低き者にも、富める者にも貧しき者にも同様の恩恵を与えるのであれば、それは絶対的な祝福となる。だが、わたしの前にある法案には、こうした正義の原則から大きく、不必要にかけ離れている箇所があるように思われる。」

『ユダヤ・ロスチャイルド 世界冷酷支配年表』65頁